

(第八部)

# 國第十六回 參議院厚生委員會會議録

昭和二十八年八月十日(月曜日)午前十一時四十二分開会

## 委員の異動

八月八日委員江田三郎君辞任につき、その補欠として竹中勝男君を議長において指名した。

出席者は左の通り。

委員長 理事 员  
藤原 堂森 芳夫君  
委員 道子君

○社会保険審査官及び社会保険審査会  
法案内閣提出、衆議院送付) 本日の会議に付した事件

○委員長(堂森芳夫君) 只今から厚生  
委員会を開会いたします。

○中山善蔵君 私はこの際質疑を打切り、討論を省略して、直ちに採決せられ  
ることの動議を提出いたします。(賛成  
「無茶」です) 「委員長」「委員長」「余計な  
ことを言わないで下せん」と呼ぶ者あり、  
〔藤原道子君「私のほうが早い  
す。」と述べる〕

○委員長(堂森芳夫君) 藤原さん、何  
御発言ですか。

○社会保険審査官及び社会保険審査会  
法案(内閣提出、衆議院送付)

○委員長(藤森芳夫君) 只今から厚生  
委員会を開会いたします。

○中山善彦君 私はこの際質疑を打切  
り、討論を省略して、直ちに採決せられ  
ることの動議を提出いたします。(「賛成  
」「無茶です」「委員長」「委員長」「余計なこ  
とを言わないで下さる」と呼ぶ者あり)

〔藤原道子君「私のほうが早いで  
す。」へ述べ〕

○委員長(藤森芳夫君) 藤原さん、何  
の御発言ですか。

展しましたけれども、他の面に対応する  
答弁は残つておる、こういう状態で質  
疑の打切ができるかどうか、委員長どう  
うお考えになりますか。

○委員長(雪森芳夫君) 只今湯山委員長  
からの御発言でありますべく、中山委員長  
からの質疑打切の動議が出ておりまして、  
この処理を如何いたすとかと、こ  
ういうふうに私考えておるわけです  
が、質疑はある程度二回、一日間  
に亘つてやられておりますので、一つ  
何か話合いで、これで質疑が打切れる  
ものなら打切る、或いはどうするとい  
うことができるべきいいのじやないか  
と、こういうふうに考えております。  
ちょっとと速記をとめて下さる。

午前十時四十五分会見記中止

いと私は思う。と申しますのは、例うば政務次官は、私が政府委員室へ行つて、親父が、親父という言葉は悪いかも知れませんが、父親が飯を食わすなといつたときに、母親が食わすといふようなこともあるじやないかと、いふとを申したら、宮崎次官は、そういうことはしない、こう言つた。私は普通の家庭ではそういうことをするといふとを言つたら、政務次官は、あなたの家庭では夫婦が一致していないのだといふ難をされた、非難という言葉は悪いかも知れませんが、ひやかさない。政務次官がそう言われたことが現実に事務次官によつてなされているのです。というのは、あの翌日に事務次官は、大臣がそうち仮に命令したとして

(五五七)

たいということを含めて議事進行の章見を述べたいと思います。

この厚生委員会が随分長い間審議を終したということを専門の皆さんおへんしゃいますけれども、実は本法律審議は、この印刷物について御質問をまとめて、これだけ大部のものです。こうして、大部のものでありますながら、これに照した審議の時間というものは実際是非常に少くて、非常に多くの時間を費やしましたのはあのらしい予防法案なんですね。で、このらしい予防法案の審議がなぜか簡単に申上げますと、全く厚生省当局の、大臣を含めて、やり方が悪かつたためなんですね。このことは事務次官はおりませんが、政務次官はよく御承知と申しますが、例えば大臣がらい患者に対して飯を出すなどいう命令を下したということを事務次官はつきり申しております。ところが厚生大臣はそのようないい命令は下していないということを本議ではつきり御答弁になつていてゐるんです。この責任は私はなお追究するつもりであります。なお、又本案の審議が当りますても、次官も局長も三者構成議ではつきり御答弁になつていてゐるんです。この他のことに關しては運営によつて行く、運営によつてやることをおつしやつておりますけれども、併しながらその運営をどうして行くかといふ内容についてではまだ質問していないのです。而もその運営について、それでは厚生省当局へ責任を持たなければならぬかどうかということを検討いたしますと、全く責任を持つた

いと私は思う。と申しますのは、例うば政務次官は、私が政府委員室へ行つて、親父が、親父という言葉は悪いかも知れませんが、父親が飯を食わすなといつたときに、母親が食わすといふ家庭ではそういうことをすると、いふことを申したら、宮崎次官は、そういうことはしない、こう言つた。私は普通の家庭では夫婦が一致していいのだといふ非難をされた、非難という言葉は悪いかも知れませんが、ひやかされた。政務次官がそう言われたことが現実に事務次官によつてなされているのです。というのは、あの翌日に事務次官は、大臣がそうち仮に命令したとして官は、その命令に反して飯を与えるということを約束した、そしてその手配を藤楓会を通じてやつたわけです。それが若しあのときにお考えを変えていなかつたとなれば、事務次官はやはり一つの背信行為をやつている。で、その問題そいう問題がたびくありまして、私は厚生省当局がこの法案の不備な点は運営によつてやつて行くとおつしやりますけれども、一体どのよう運営して行くかといふような点は全然質疑はなされていないわけです。而もその質疑がなされなかつた理由は、私がそういう問題について質問しようとしているときに、そういう問題は堂々めぐりをするから一つお前の持つていて

たいということを含めて議事進行の意見述べたいと思います。

この厚生委員会が随分長い間審議を尽したということを与党の皆さんおつしやいますけれども、実は本法律案は、この印刷物について御覧頂きましたが、これだけ大部のものであります。こういふ大部のものでありますながら、これに要した審議の時間というものは実際は非常に少くて、非常に多くの時間を費やしたのは、あのらしい予防法案なんですね。で、このらしい予防法案の審議がなぜあのように長引いたかということを簡単に申上げますと、全く厚生省当局の、大臣を含めて、やり方が悪かつたためなんです。このことは事務次官はおりませんが、政務次官はよく御承知思いますが、例えば大臣がらい患者に対して飯を出すなどいう命令を下したことなどを事務次官はつまづり申しておる。ところが厚生大臣はそのような命令は下していないということを本会議ではつまづり御答弁になつてゐるんです。この責任は私はなお追究するつもりであります。なお、又本案の審議に当りましたても、次官も局長も三者構成その他のことに関する運営によつてやつて行く、運営によつてやるといふことをおつしやつておりますけれども、併しながらその運営をどうして行くかという内容についてはまだ質問していないのです。而もその運営について、それでは厚生省当局へ責任を持たすことができるかどうかということを検討いたしますと、全く責任を持たないといふことを含めて議事進行の意見述べたいと思います。

この厚生委員会が随分長い間審議を尽したということを与党の皆さんおつしやいますけれども、実は本法律案は、この印刷物について御覧頂きましたが、これだけ大部のものであります。こういふ大部のものでありますながら、これに要した審議の時間というものは実際は非常に少くて、非常に多くの時間を費やしたのは、あのらしい予防法案なんですね。で、このらしい予防法案の審議がなぜあのように長引いたかということを簡単に申上げますと、全く厚生省当局の、大臣を含めて、やり方が悪かつたためなんです。このことは事務次官はおりませんが、政務次官はよく御承知思いますが、例えば大臣がらい患者に対して飯を出すなどいう命令を下したことなどを事務次官はつまづり申しておる。ところが厚生大臣はそのような命令は下していないということを本会議ではつまづり御答弁になつてゐるんです。この責任は私はなお追究するつもりであります。なお、又本案の審議に当りましたても、次官も局長も三者構成その他のことに関する運営によつてやつて行く、運営によつてやるといふことをおつしやつておりますけれども、併しながらその運営をどうして行くかという内容についてはまだ質問していないのです。而もその運営について、それでは厚生省当局へ責任を持たすことができるかどうかということを検討いたしますと、全く責任を持たないといふことを含めて議事進行の意見述べたいと思います。

この厚生委員会が随分長い間審議を尽したということを与党の皆さんおつしやいますけれども、実は本法律案は、この印刷物について御覧頂きましたが、これだけ大部のものであります。こういふ大部のものでありますながら、これに要した審議の時間というものは実際は非常に少くて、非常に多くの時間を費やしたのは、あのらしい予防法案なんですね。で、このらしい予防法案の審議がなぜあのように長引いたかということを簡単に申上げますと、全く厚生省当局の、大臣を含めて、やり方が悪かつたためなんです。このことは事務次官はおりませんが、政務次官はよく御承知思いますが、例えば大臣がらい患者に対して飯を出すなどいう命令を下したことなどを事務次官はつまづり申しておる。ところが厚生大臣はそのような命令は下していないということを本会議ではつまづり御答弁になつてゐるんです。この責任は私はなお追究するつもりであります。なお、又本案の審議に当りましたても、次官も局長も三者構成その他のことに関する運営によつてやつて行く、運営によつてやるといふことをおつしやつておりますけれども、併しながらその運営をどうして行くかという内容についてはまだ質問していないのです。而もその運営について、それでは厚生省当局へ責任を持たすことができるかどうかということを検討いたしますと、全く責任を持たないといふことを含めて議事進行の意見述べたいと思います。

この厚生委員会が随分長い間審議を尽したということを与党の皆さんおつしやいますけれども、実は本法律案は、この印刷物について御覧頂きましたが、これだけ大部のものであります。こういふ大部のものでありますながら、これに要した審議の時間というものは実際は非常に少くて、非常に多くの時間を費やしたのは、あのらしい予防法案なんですね。で、このらしい予防法案の審議がなぜあのように長引いたかということを簡単に申上げますと、全く厚生省当局の、大臣を含めて、やり方が悪かつたためなんです。このことは事務次官はおりませんが、政務次官はよく御承知思いますが、例えば大臣がらい患者に対して飯を出すなどいう命令を下したことなどを事務次官はつまづり申しておる。ところが厚生大臣はそのような命令は下していないということを本会議ではつまづり御答弁になつてゐるんです。この責任は私はなお追究するつもりであります。なお、又本案の審議に当りましたても、次官も局長も三者構成その他のことに関する運営によつてやつて行く、運営によつてやるといふことをおつしやつておりますけれども、併しながらその運営をどうして行くかという内容についてはまだ質問していないのです。而もその運営について、それでは厚生省当局へ責任を持たすことができるかどうかということを検討いたしますと、全く責任を持たないといふことを含めて議事進行の意見述べたいと思います。

四二二分開会

昭和二十八年八月十日(月曜日)午前十時

常任委員会

多田 仁巳君

会専門員

本日の会議に付した事件

○社会保険審査官及び社会保険審査会

法案(内閣提出、衆議院送付)

○委員長(堂森芳夫君) 只今から厚生

委員会を開会いたします。

○委員長(堂森芳夫君) 私はこの際質疑を打切

り、討論を省略して、直ちに採決せられ

○委員長(堂森芳夫君) 「余計なこと

を言わな」で下さい」と呼ぶ者あり)

〔藤原道子君「私のほうが早いで

す。」と述べ〕

○委員長(堂森芳夫君) 藤原さん、何

の御発言でござりますか。

○藤原道子君 過日、まだ質疑は継続

中でございましたが、それはすでに中

山委員も御承知の通りであります。私

どもはこの重大なる法案を、多數で押

つて質疑を打切りとするよろなこ

とに対しても、了承するわけに参りま

せん。大事な法案であるが故に、もつ

と質疑を尽されんことを要望いたしま

す。

○高野一夫君 私は只今の中山委員の

動議に賛成いたしております。

○湯山勇君 私の質問に対する答弁は

まだ尽されていないのです。いろく

質問した中で質問に対する一つの誤解

がありましたので、その誤解はこうだ

と言つて一部分のことについての答弁

しかなかつたわけです。その答弁がこ

んがらかつてああいうふうになつて発

展しましたけれども、こういう状態で質

弁は残つております。他の面に対する

お考えになりますか。

○委員長(堂森芳夫君) 只今湯山委員

からの御発言であります。中山委員

につき、その補欠として阿具根登君、

平啓一君、劍木亨弘君、中山福藏君

、大谷豊潤君、紳士君、廣瀬久忠君及び山下義信君等

の出席者は左の通り。

○委員長(堂森芳夫君) 委員長にお

指名した。

○委員長(堂森芳夫君) 只今から厚生

委員会を開会いたしました。

○委員長(堂森芳夫君) 「余計なこと

を言わな」で下さい」と呼ぶ者あり)

〔藤原道子君「私のほうが早いで

す。」と述べ〕

○委員長(堂森芳夫君) 私は普通の

やり方でござります。この印刷物について御覧頂きまし

て、この処理を如何いたそつかと、こ

ういうふうに私考えておるわけです

が、質疑はまあこれで画一回、一日間

に亘つてやられておりますので、一つ

何か詰合いで、これで質疑が打切れる

ものなら打切る、或いはどうするとい

うことができればいいのじやないか

と、こういうふうに考えております。

ちょっとと速記をとめて下さい。

○委員長(堂森芳夫君) 速記を始め

て。

○委員長(堂森芳夫君) 速記を始め

て。

○委員長(堂森芳夫君) 午前十一時八分速記開始

午前十一時四十五分速記中止

○委員長(堂森芳夫君) 五分間休憩いたします。

○委員長(堂森芳夫君) 午前十一時九分休憩

午前十一時三十三分開会

○委員長(堂森芳夫君) 休憩前に引続

きまして委員会を開会いたします。

○湯山勇君 いろいろお話をあつた

のですけれども、結局あの動議が成立

しておるというような御見解が強く

て、結局質疑、討論打切りといふよう

なことがなされた。それで私はそのことを

運営して行くかというような点は全然

な点は運営によつてやつて行くとおつ

て、それが運営によってやつたわけです。それで私は厚生省当局がこの法案の不備

な点は運営によつてやつて行くとおつ

いう腹案が述べられればそれを中心にして質疑を展開して行けばもつと問題は展開していくのじやないか、こういふようなお話をありましたので、私は、それではその申出に従つて具体的な問題について進めて参りましようということで引用受けまして、で、一昨日の委員会におきましては、午後はそういう問題について質問することに移つたわけですね。だから運営面等についての質問は全く殆んどどといつてもいくらいに検討されていないのです。更に又この問題について残されておるのは、現在いろいろな審査会で三者構成をなしておるものが随分たくさんございます。その三者構成をしておる委員会にはそれが意味がありまして、成るほど能率を上げるというよくな点から言えば、その三者構成が不自由なものもたくさんあるわけです。併しその三者構成をただ運営に不便だからということを変えていいかどうか、こういうことでその構成を崩すということは、他の三者構成の機関にどういう影響を与えるかというよくな問題につきましては、労働委員会或いはその他厚生省の統轄しておるものにもそういうものがありますが、そういう他の委員会との関連も多分にあると思います。併しそういうことについての質問も全然なされていないから、そのことが他の委員会にどう関連を持つかといふような点についての検討は、これは局長も御判断になつていいと思いますが、全然なされていないのです。更に又こういう大きい機関を政府が設置するということになれば、当然内閣委員会との関係もございます。単に一事務官を雇

入れるとか、そういうたつ問題ではなくて、少くとも大臣級の人を持つて来て、そういう機構を作つて行こうという段階において、一厚生委員会が十分な、そういう面は全くなされていないのです。こういう点について検討をしないことは勿論だが、それに関連する他の機関との、つまり内閣委員会との合同審査なども、委員会自体の運営から考えましても、局長やその他のかたはすでに質問は終了した、あとは見解の相違だとおつしやいますけれども、若しそう御判断になるのであれば、当然一昨日の二時三十分、まだ早いですから、昼飯も食わないでそこまでやつた委員会ですから、その時にそういうことを納得するように御説明になつて御決定になれば問題はない。併しその時には質問が残つておるという状態において散会したはずです。それを今そのような状態を無視して、そういう過去の一切の行きがかり、どういう点についての質問が残されているか、そしてこの法案がどのように大きい法案であるか、量的にも質的にも大きい問題を含んだ法案であるかといふようなことを無視して、そして政府の怠慢、厚生省当局の怠慢、無責任、そういうことのしわ寄せがこの委員会に来ている、そういうことを無視して厚生当局も極めて誠意のない答弁をし、そしてそれによつてともかくも質疑を打ち切つて、而も討論までもそれによつてやらないようになつようというようなことは、私は余りにもこれはやり方がひど過ぎるものではないか。

○湯山勇君 私は今の議事進行の動議  
に對して意見を述べて、そしてそれに  
對してなお議事進行に關する意見を述べ  
たいと思いますので、これは簡単に、  
反対とか賛成とかいう問題ではなくて、  
特に今日あの問題を主張された委員のかたは  
お二人とも新らしい方であります。  
そして他の党派から出ておられる  
委員のかたも四人まで新らしいかただ  
けです。ですからそういうかたに慣じただけ  
にこの採決に加わつて頂くためには、  
私は経過をかなり詳細に申上げて御判斷  
頼む必要があると思います。「(群衆)  
細に一つ願います」と呼ぶる者あり)そ  
のことをただ簡単にこれはああだとか  
こうだとか言うのではなくて、判断を正  
確にして頂くための資料を提供する  
ということが議事進行のこの際の最も重  
要な役目だと思いますので、一つ御承  
了承願いたいと思います。

そういう段階を通して参つております  
まことに、そういうことをお考え頂いたな  
らば、この問題に対して成るほど質問  
については或いは私と見解の相違だと  
言い、そして局長がなおあのよしな過  
程であるにもかかわらずそういうふうに  
一方的におつしやるのならば、これ  
については委員長が速記録を調べると  
思いますが、併しながら討論をもこれに  
併せて打切るということにつきましては、  
まことにこれは或いは止むを得ないと思  
います。併しながら討論をもこれに  
場の口だけでは結局水掛け論になります  
から、質疑の打切りということにつきま  
してはこれは或いは止むを得ないよ、私  
は聞いていないよ」と呼ぶる者あり)動  
議としてはそうだったですね。(「そぞろ

お出しになるということについて私は非常に大きな問題があると思ふのです。それは恐らくこの問題に關しては予算が組まれていない関係もありますから、全国の医師会のかたへ、これについて非常に疑問を持つておられます。私は正式な機関についてお書きしたことはありませんけれども、政策がこういうふうなことで予算の少いとで審査を厳重にするということになるとしわ寄せをして来た場合には、占点を上げるとかその他のことをやる立つてこれに反対しておられることを知つておるので、」このことを詳しく申上げますれば、恐らくすべての医師のかたは反対をなさると思ひます。なお又社会保障制度審議会の答申にきましても局長はあいうふうにこゝは三者構成をこわすから考慮せよとうことについては、これは考慮せい、ということは認めておることだと未だござつてない独自な解釈をしておられる。こういうことをもつと突き進んで討論をしなければ、一休初めて来られたときは何をもとにして採決に参加するとながおきになるでしようか。社会委員会の第二控室の加藤委員も阿具根委員、中山委員も、それから自由党のお二人の委員のかたも、つまり五人の新らしい委員のかたを加えて、その新らし会の民主的な運営になるかどうか委員長はこういう事態を、委員長はこただけの構成の委員の中で、本委員会に参加する、こういうことが果して委員会の民主的な運営になるかどうか

初めて出られたかたが五名ある。その五名のかたが少くとも恐らく十分にこの法案は見られたこともないと思うのです失礼な言い方ですが、而も現在までの短い時間の質疑でどこが問題点なのか、或いはこれについてどういふことが質疑応答されたか、そういうことを御存しないでどうして採決に参加することができるか、これは委員長の責任において、委員会の構成がこうなつたといふことは委員長の責任においてそれに対処する新たな方法をお考えにあると責任が私は厚生委員会としてあると思うのです。(「そうだ」と呼ぶ者あり)これを強引に討論を省いて採決に持ち込もうとするような動議が出た場合には、私は委員長はその職を勤してもかような不合理な採決はできないということを断乎としてやるだけの決意が国会の委員長としてやる責任がある。やることが義務である、言い過ぎかも知れませんけれども、私はそう思ひます。にもかかわらず委員長は只今の動議は動議として成立しておるといふようなことを一應審議会ではあるけれどもおつしやつた。このことは私は委員長が余りにも形式的な運営に囚われて委員会の実質的な審議、そういうものを無視しておられるのではないかと思うのです。若し私の言ふことに誤りありとお考えになるならば、委員長みずから五人の新らしい委員のかたに問題点になつておるところ並びにそれに付いてどのような見解が下されるということを当つて質して頂きたい、そして成るほど形式的には五人のかたは正式な手続をして出られた委員でありますけれども、実質的にどの採決に参加でき

る資格を持つておるかどうか、そういう点についての検討を委員長はなされることはあります。私は若し只今のような動議が、或いは只今のようないじることについても、直感的にもそういうことは御判断できると思います。私は若し只今のような動議が、或いは只今のようないじることについての採決が自由党も大谷、楠原の両委員がおいでになつておられるし、或いは改進党その他の党派におきましても、今までこの法案と取組んだかたがもつとたくさん出られ、新らしい人が一、二名、そういう段階ならば、これが大勢を支配するに至りますれば、何をか言わんやであります。然るによくわかつてないかたが五人もおるという状態で、而もその人達の向背が一切を決定するといふような採決が、討論を抜きにしてながれると、うことは、私はどうしても納得が行かない、若しこのこと自体を公表したならば、現在厚生委員会の決定に従つていろいろなことをしておる例えは援護の関係とか、或いは療養の関係とか、或いは現在すでに問題を起しておりますら、の諸君とかが、今のような運営を厚生委員会でなされておるということを聞いたら、一体どう思うでしようか。そういうことを対象者に思わせることは、この委員会がどうあるとか、どうあるのではなくて、国民に対する厚生行政、我々委員が国民に対して持つておられる責任が果してそれで果せると委員長はお考えになりますか。こういう動議が仮に出され、仮にそれに対する賛成者があつたとしても、それは委員長が持つておる全国民に対する責

任、そういうことから考えてよく、この辺の点は御検討願わなければならぬ問題ではないかと思うのです。今私が申し上げましたように、一々当つて聞くといふようなことはできないにしても、直感的にもそういうことは御判断できると思います。私は若し只今のような動議が、或いは只今のようないじることについての採決が自由党も大谷、楠原の両委員がおいでになつておられるし、或いは改進党その他の党派におきましても、今までこの法案と取組んだかたがもつとたくさん出られ、新らしい人が一、二名、そういう段階ならば、これが大勢を支配するに至りますれば、何をか言わんやであります。然るによくわかつてないかたが五人もおるという状態で、而もその人達の向背が一切を決定するといふような採決が、討論を抜きにしてながれると、うことは、私はどうしても納得が行かない、若しこのこと自体を公表したならば、現在厚生委員会の決定に従つていろいろなことをしておる例えは援護の関係とか、或いは療養の関係とか、或いは現在すでに問題を起しておりますら、の諸君とかが、今のような運営を厚生委員会でなされておるということを聞いたら、一体どう思うでしようか。そういうことを対象者に思わせることは、この委員会がどうあるとか、どうあるのではなくて、国民に対する厚生行政、我々委員が国民に対して持つておられる責任が果してそれで果せると委員長はお考えになりますか。こういう動議が仮に出され、仮にそれに対する賛成者があつたとしても、それは委員長が持つておる全国民に対する責

任、そういうことから考えてよく、この辺の点は御検討願わなければならぬ問題ではないかと思うのです。今私が申し上げましたように、一々当つて聞くといふようなことは御判断できると思います。私は若し只今のような動議が、或いは只今のようないじることについての採決が自由党も大谷、楠原の両委員がおいでになつておられるし、或いは改進党その他の党派におきましても、今までこの法案と取組んだかたがもつとたくさん出られ、新らしい人が一、二名、そういう段階ならば、これが大勢を支配するに至りますれば、何をか言わんやであります。然るによくわかつてないかたが五人もおるという状態で、而もその人達の向背が一切を決定するといふような採決が、討論を抜きにしてながれると、うことは、私はどうしても納得が行かない、若しこのこと自体を公表したならば、現在厚生委員会の決定に従つていろいろなことをしておる例えは援護の関係とか、或いは療養の関係とか、或いは現在すでに問題を起しておりますら、の諸君とかが、今のような運営を厚生委員会でなされておるということを聞いたら、一体どう思うでしようか。そういうことを対象者に思わせることは、この委員会がどうあるとか、どうあるのではなくて、国民に対する厚生行政、我々委員が国民に対して持つておられる責任が果してそれで果せると委員長はお考えになりますか。こういう動議が仮に出され、仮にそれに対する賛成者があつたとしても、それは委員長が持つておる全国民に対する責

任、そういうことから考えてよく、この辺の点は御検討願わなければならぬ問題ではないかと思うのです。今私が申し上げましたように、一々当つて聞くといふようなことは御判断できると思います。私は若し只今のような動議が、或いは只今のようないじることについての採決が自由党も大谷、楠原の両委員がおいでになつておられるし、或いは改進党その他の党派におきましても、今までこの法案と取組んだかたがもつとたくさん出られ、新らしい人が一、二名、そういう段階ならば、これが大勢を支配するに至りますれば、何をか言わんやであります。然るによくわかつてないかたが五人もおるという状態で、而もその人達の向背が一切を決定するといふような採決が、討論を抜きにしてながれると、うことは、私はどうしても納得が行かない、若しこのこと自体を公表したならば、現在厚生委員会の決定に従つていろいろなことをしておる例えは援護の関係とか、或いは療養の関係とか、或いは現在すでに問題を起しておりますら、の諸君とかが、今のような運営を厚生委員会でなされておるということを聞いたら、一体どう思うでしようか。そういうことを対象者に思わせることは、この委員会がどうあるとか、どうあるのではなくて、国民に対する厚生行政、我々委員が国民に対して持つておられる責任が果してそれで果せると委員長はお考えになりますか。こういう動議が仮に出され、仮にそれに対する賛成者があつたとしても、それは委員長が持つておる全国民に対する責

任、そういうことから考えてよく、この辺の点は御検討願わなければならぬ問題ではないかと思うのです。今私が申し上げましたように、一々当つて聞くといふようなことは御判断できると思います。私は若し只今のような動議が、或いは只今のようないじることについての採決が自由党も大谷、楠原の両委員がおいでになつておられるし、或いは改進党その他の党派におきましても、今までこの法案と取組んだかたがもつとたくさん出られ、新らしい人が一、二名、そういう段階ならば、これが大勢を支配するに至りますれば、何をか言わんやであります。然るによくわかつてないかたが五人もおるという状態で、而もその人達の向背が一切を決定するといふような採決が、討論を抜きにしてながれると、うことは、私はどうしても納得が行かない、若しこのこと自体を公表したならば、現在厚生委員会の決定に従つていろいろなことをしておる例えは援護の関係とか、或いは療養の関係とか、或いは現在すでに問題を起しておりますら、の諸君とかが、今のような運営を厚生委員会でなされておるということを聞いたら、一体どう思うでしようか。そういうことを対象者に思わせることは、この委員会がどうあるとか、どうあるのではなくて、国民に対する厚生行政、我々委員が国民に対して持つておられる責任が果してそれで果せると委員長はお考えになりますか。こういう動議が仮に出され、仮にそれに対する賛成者があつたとしても、それは委員長が持つておる全国民に対する責

会期がすでに済んでおりまして、この三日間の延長といらうのがなければ、これは今は採決にまで至らないといふ運命にあつたものが、たまく三日間に皆様がたも、もう長い間のお疲れ足しの一日なのでござります。この一日に皆様がたも、もう長い間のお疲れが出ておりまして、もう帰心矢のごときものがあつりになるといふことはお互い十分承知いたしておりますが、そいうい勢いで以て急いでこれを上げてしまふ、殊に討論をしないで上げてしまうといふやり方は、これは必ずしも皆様がたの賛成にしても反対にしても、これは心の中に悔を残すことであらうかと私は考えますので、こうひょうのような採決の仕方といふものを、もう一度お考え直しになつて頂くことができないか、私はこれを心よりお願ひを申上げます。又更に厚生当局といひましては、こういうような法案の出た所としては望ましいことであらうと私は考えます。併しお役所が事務上好ましく早く一つ一つ出た以上のものが、これが成立して行くということは、お役所としては望ましいことであると委員会がいつでも行動するといふことがあつては、これは委員会の生命を失つてしまふことになるのでありますから、これは与党のおかたにおきましても、ただお役所本位、お役所を助けて行けばいいというような考え方ではなくして、この法案の本質について十分にお考えになつて頂きたいと思うのでござります。殊に承わりますと、新らしく問題になつておりますこの法

案の予算措置は、まだなされておらぬ  
ひそうでござりますけれども、若し法  
案が通過をいたしますれば、二十九年  
度の予算においては、やはり予算の措  
置ということが当然考えられるであ  
るうと存じますが、こういうような予  
算措置が、これ又全体の金額からい  
て成るべく費用を少くして行こう、  
その方針に向つて、これは与党である  
と野党であるとを問わず、今どんく  
予算は膨脹して行く傾向を飽くまで阻  
止するといふことが国民から期待され  
ておる問題でござりますから、そのこ  
とをもお考えになりまして、いろ／＼  
のまだ問題が含まれておるのではない  
か、私は参つたばかりで大変失礼でござ  
りますが、こういうような点に気が付  
つくなっています。それで私が特に注  
意する委員のあなたにお願い申上げたい  
ことは、どうかこの法案が、今日一日  
といふ運命的に延ばされた日で、こゝ  
で以て今あわただしく御採決をなさる  
といふようなことはなくして、継続  
審議というような形をおとりになつて  
頂いて、一應皆さんの長い間お困りにな  
つたお疲れをお休めになつて、こゝ  
で一眼なさつてから、新らしい氣分で  
継続的に審議して、民間代表の意見を  
りをお聞きとり頂いて、皆が納得した後  
上で、むしろ党派の利害を超えたとい  
うような気持でこれが採決になる、こ  
ういうようなことであつたら、これは  
誰も異存のないことであらうと思いま  
すので、私は参りたてで甚だ僭越でござ  
りますけれども、馬とこれだけのこと  
とを与党の委員のあなたにお願い申上げ  
る次第であります。

○高野一夫君 先ほどの湯山委員のお話も御無理のないような点を感じないでもない点であります。が、率直に申上げて、一応この間も藤原委員なり湯山委員にしても「十分私はこの法案とのに対する直接的な御質疑は十分お出になつたのじやないか」と思つておる。それあとから引つかつて参る、引つかつておるとおつしやる問題は、湯山委員の私案、こういう考え方を以て、これに対しても思うか、こういうふうないわば討論に至るような御質疑であります。直接間接関係がないとは申しませんけれども、直接的にこの法案に対する質疑は一応あのときにおやめになつて、そうして御自分の私案についてお述べになつた、これに対しても厚生省はどう思うか、こういうふうに我々は耳聴いたしておつたのであります。一昨日の三時頃ここを散会いたしたと思いますが、そのときの厚生省側の御答弁によつてあなたは御満足なさらなかつたかも知れませんけれども、それは見解の相違であるからも知れませんが、一応ここで厚生省側の御答弁が済んだと私どもは心よく了解しておるような次第であります。それでお先ほど来新らしい委員の差替えといふこともございましたが、これは今加藤さんからもお話をございました通りでございまして、一応党派からいろいろお互いに委員の差替えは常に行われるのであつて、併し我々のほうにおきましては「新らしい委員に代つて頂くにつては、少くとも今朝一時間に亘つてこの法案についての審議の経過を十分説明をしまして、そしてこれに対するいろいろな難点のあるところ、或いは各党派から質疑のあつたところを

一つ御理解願つて出て来たつもりでございます。併しながらここでお互に新らしい本日お出になつた委員に対し、それはどういう方法を講じておるかということは論議のほかでございませんが、一応私は加藤委員にいたしまして、阿木根委員にいたしましても、中山委員にいたしましても、我々のほうの二人の委員にいたしましても、差異つてお出でになつた以上は、本法案の本筋をお掘りになつて、採決といいますか、賛否の態度を明瞭にして出ておいで願つておると私は各委員の人格を尊重してさように確信いたします。それで先ほど動議を出されて成立しておるわけでございますが、どうか一つ湯山さんにお願い申上げたいのでございまが、そういうような段階にあると私どもは了解いたしておるのでございますから、あなたの運営に対するいろいろな不安、そういう気持は十分お互いが国会の権威において厚生省を督促して、そうしてこの審査が決して利益代表の審査でなくして偏頗な審査が行なわれないよう、これは我々が希望することによつて十分私は趣旨が徹底されようかと思いますが、どうか一つその辺で御了解を終わつて、委員長において適当に議事の進行をお計らいを願いたいと私は思うのです。

○加藤シヅエ君 それはどういわけなんでございましょうか。法案が成立していないうちに予算措置ができるということはどういうわけでしょうか。

○政府委員(久下勝次君) 予算是成立いたしております。

○加藤シヅエ君 この法律が成立するかしないかということがわかつていないうちに、どうして予算措置ができるのでござりますか。

○田中啓一君 私から……。大体予算是法律案と併行審議でやるわけでござります。予算案は、まだ未成立の法案でも予定したものは、この件だけではなくてほかのものもたくさんござります。

○中山壽臺君 私が先刻提案いたしました動議の御採決を願います。

○藤原道子君 私は、先ほど来の中山さんの御発言の中に、厚生当局は質疑は済んだものと思う、こういうような重大な発言をしておるので、私は質疑は保留してある点が多くあるということは、これ又速記録を見て頂ければわかることなんです。私ども議員といたしましては、国民に責任を果せるだけの質疑をいたしますことは当然の権利だと思います。而も、厚生省の而も関係局長が質疑は済んだものと思う、こういうことはどこを以て言われるのか、こういう点が私の納得の行かない点なんです。(答弁は済んだというのだと呼ぶ者あり) 答弁は済んだ……、あなたたちは厚生省のことにより出しをしてはいけない。私は委員としての一個の資格を以て申上げておる。

質疑はもう済んだ、答弁は済んだと思ふ、質疑はもうすでに終つたものと思ふいますということを言つた。若しも間

Digitized by srujanika@gmail.com

違つておれば速記録を見ればわかるのです。（「答弁は済んだという……」と呼ぶ者あり）答弁は済んだと言ひながら、法案の審議を打切つたのち……（「それは我々は勧議を出しておる」と呼ぶ者あり）厚生省に同調するがごとき言辭を弄しております。従いまして私はこの問題等において、将来若し問題が起きたならば、これを言明なさいました厚生当局はこの責任をお負いになるのでござりますか。議員としての責任がどれだけあるかということをどういうふうにお考えになりますか。私たちは殊に大事な法案の直接の問題を取上げて來た。この三者構成、この問題を中心へ質疑をいたしております。又今後如何なる方法に持つて行くかについては運営の面でいたしたいと仰ることでござりますから、まだく大事な質問は残つております。たつた一日や一日半の質疑での厖大なる法案の審議が済んだのでしょうか。あなたがたは良心を以て国民に質疑は十分に済んだと、こう言い切れる自信があると思いますか。（「ありますよ」と呼ぶ者あり）ありますか、大したものですね。私はこういふ点におきまして、なお良心的に言えるかどうかということを言つたのです。（「取消せ」と呼ぶ者あり）私は取消しません。（「良心があるとは何だ」と呼ぶ者あり）私の発言中に……。

をしていない、資本家も納得していない、お医者さんの方々からも我々のところには相当反対の意見が来ておる。事業主も余り納得していない、こういう法案でござりますから、この際行きながらや面子を捨てて、もつと今作らなければ忽ち人が死ぬという問題じがないのです。従いまして私はこの法案は是非とも合同審査、或いは又公聴会等をやつて、すべての人が納得の上でなおこれがよろしいということになれれば、多数の原理に従つて私たちも皆御意見に従いますけれども、大事な法律でござりますから、意を尽して、あとで遺憾のないようになら如何でござりましょうか。私はこれが委員会いたしましてとるべき途じやないか。もつと簡単な法律ですら、私たちは合同審査を当委員会においてはやつて来ております。参考人も呼んでおりまます。公聴会も開いております。而もこの厖大な大臣級を二名も置こうとするような新らしい制度を持つ法案なるが故に、私はこの際どうぞしてあらゆる者が納得の行く審議の方向へ与党の皆様もお考え直しを願いたい。私はそうでなければ、厚生委員といたしまして、社会の人に申証がない、こういうふうに考えるのです。これは私が何よりも、しやにむにこれを潰そうとうのじやない、審議が尽せない、あらゆる方面から反対の声が高い法律でござりますから、私はそういう方向へ持つて行つてやりたいということを私は提案して、皆様がたの御一考をお願いしたいと思います。

ます。質疑を継続する」とに賛成の君の拳手を願います。

〔賛成者拳手〕

○委員長(堂森芳夫君) 少数でござります。よつて質疑続行の動議は否決されました。

次に中山委員の質疑打切の動議を乞題に供します。質疑打切に賛成の諸君の拳手を願います。

〔賛成者拳手〕

○委員長(堂森芳夫君) 多数でござります。よつて質疑打切の動議は可決されました。

それではこれより討論に入りたいと思いますが、一人以内、二分以内といふことになつておりますが、如何でございましょうか。

〔原案賛成と呼ぶ者あり〕

○委員長(堂森芳夫君) 賛成のかたは拳手を願います。

〔賛成者拳手〕

○委員長(堂森芳夫君) 多数でござります。それではこれより討論に入ります。御意見のおありのかたはそれぞぞ否否を明らかにしてお述べを願います。

○加藤シヅエ君 私は只今お許しを頂きました二分の中で、只今議題になつております社会保険審査官及び社会保険審査会法案、これに反対をいたすものでござります。

私はこの法案がまだ十分に外部の輿論を参考いたしまして、もつと満場一致のような形で採決される」と希望いたしておつたものでございますが、たゞ一會期が延長されましたこの最後の日をとりまして、これがまだ十分に審議がなされていないからうふ

うな心持をあとに残しつつ只今採決を  
されるといふようになつたそのことを  
甚だ遺憾に思つて、私は只今のこの法  
案に賛成することができないといふ立  
場をとるものでござります。  
○湯山勇君 事ここに至りましてはフ  
エアで参りたいと思ひます。私は本法  
案に反対をいたします。以上であります  
す。  
○委員長(堂森芳夫君) 他に御発言は  
ございませんか。他に御発言もないよ  
うでございますが、討論は終結したも  
のと認めて差支えございませんか。  
「異議なし」と呼ぶ者あり  
○委員長(堂森芳夫君) 御異議ないも  
のと認めます。  
それではこれより採決に入ります。  
社会保険審査官及び社会保険審査会法  
案を衆議院送付案の通り可決すること  
に賛成のかたは御挙手を願います。  
〔賛成者挙手〕  
○委員長(堂森芳夫君) 多数でござい  
ます。よつて本案は衆議院送付案の通  
り可決すべきものと決定いたしました  
た。  
○林了君 只今可決されました本法案  
に対し、別紙附帯決議案を付せられん  
ことの動議を提出いたします。  
附 帯決議案  
社会保険審査会においては、事業主  
及び被保険者の権利救済の万全を期  
するため、所謂三者構成の実を挙げ  
ることができるよう民主的運営を行  
い、審査能率の向上を図ることを要  
望する。  
以上であります。

り附帯決議を付する」とに御賛成のかたは拳手を願います。

○委員長(堂森芳夫君) 多数でござります。林君提出の通り附帯決議を付することに決定いたします。

先ほど可決になりました法案の委員長が議院に提出する報告書に多数意見者の署名を付することになつておりますから、本案を可とされたかたは順次御署名を願います。

## 〔多数意見者署名〕

田中 啓一	劍木 亨弘
高野 一夫	中山 寿彦
西岡 ハル	横山 フク
林 了	中山 福藏
有馬 英二	

○委員長(堂森芳夫君) 署名漏れはございませんか。署名漏れはないと認めます。

「異議なし」と呼ぶ者あり  
○委員長(堂森芳夫君) 御異議ないと認めます。

○湯山勇君 私、緊急に質問いたしましたことがありますから、お許し願いたいと思ひます。なおその質問に当りましては、参考人として事務次官をお呼び願いたいと思ひます。なお政務次官も御出席願います。

○委員長(堂森芳夫君) 今連絡いたしました。本会議が開かれましたので、暫次休憩いたします。

(休憩後開会に至らなかつた。)